


2022年3月期 第1四半期決算の概況



2021年7月27日(火)
モーニングスター株式会社
代表取締役社長 朝倉 智也

Part 1

連結決算の概況

連結業績

対前年同期比で二桁の増収増益
売上高、当期利益は過去最高

(単位:百万円)

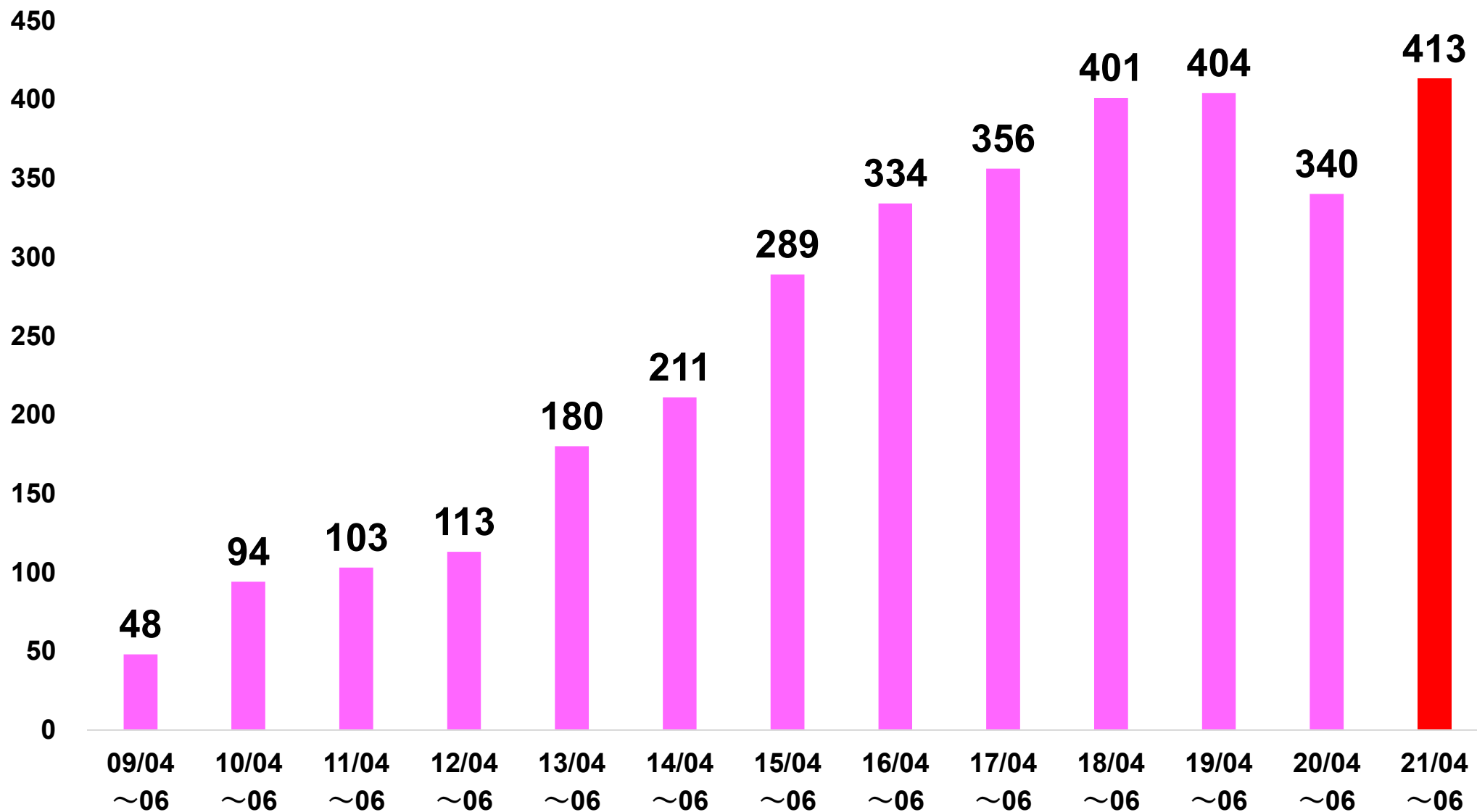
	2021年3月期 第1四半期 (2020年4月～6月)	2022年3月期 第1四半期 (2021年4月～6月)	増減率 (%)
売上高	1,806	1,987	10.0
営業利益	430	506	17.7
経常利益	513	613	19.6
当期利益	340	413	21.2

※当期利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を意味する。

連結当期利益の推移

前年度第1四半期の11期ぶりの減益から、当第1四半期は回復し、最高益を更新

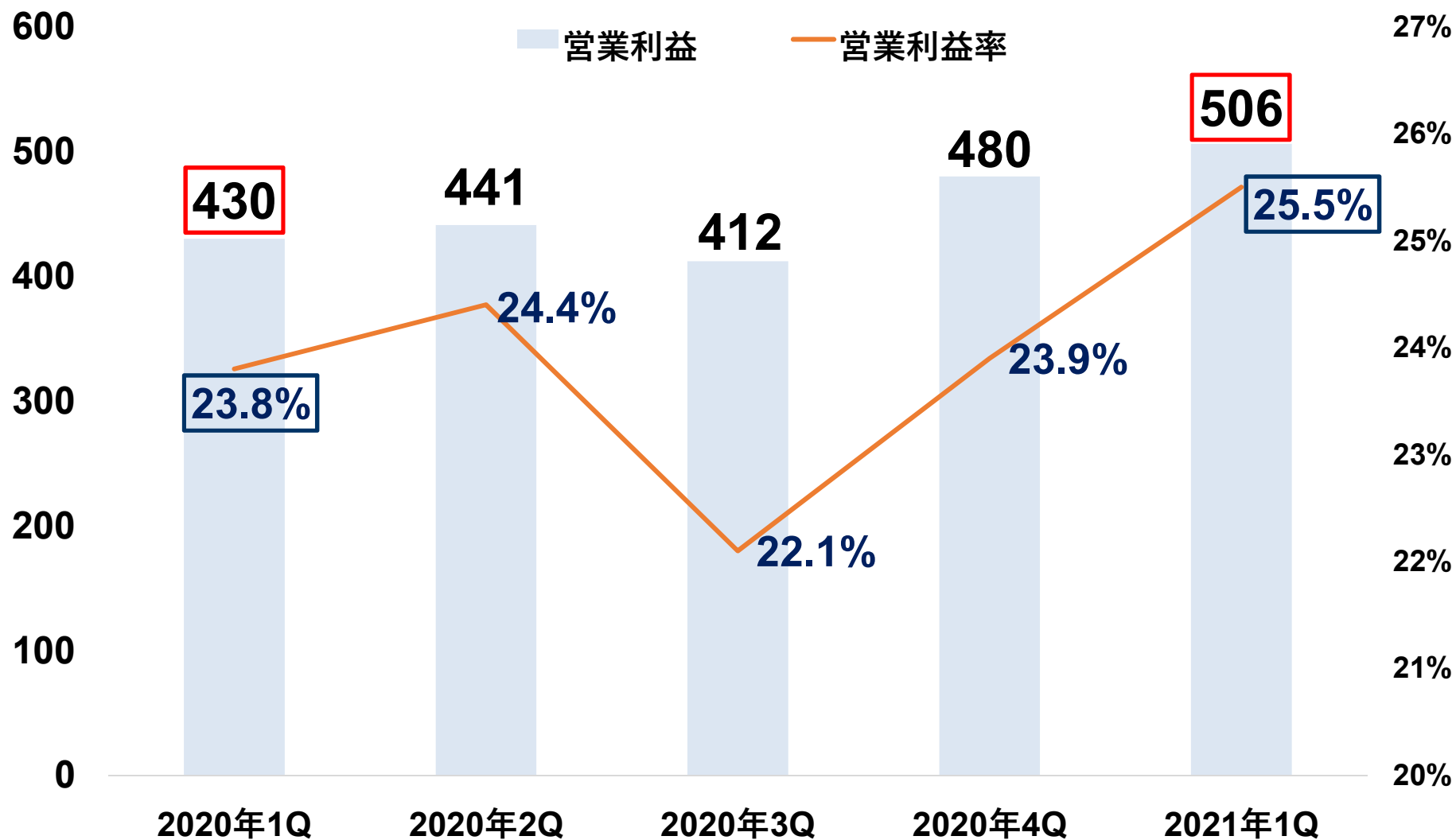
(単位:百万円)



※当期利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を意味する。

四半期の営業利益と営業利益率の推移

(単位:百万円)



主なサービス別の売上高

(単位:百万円)

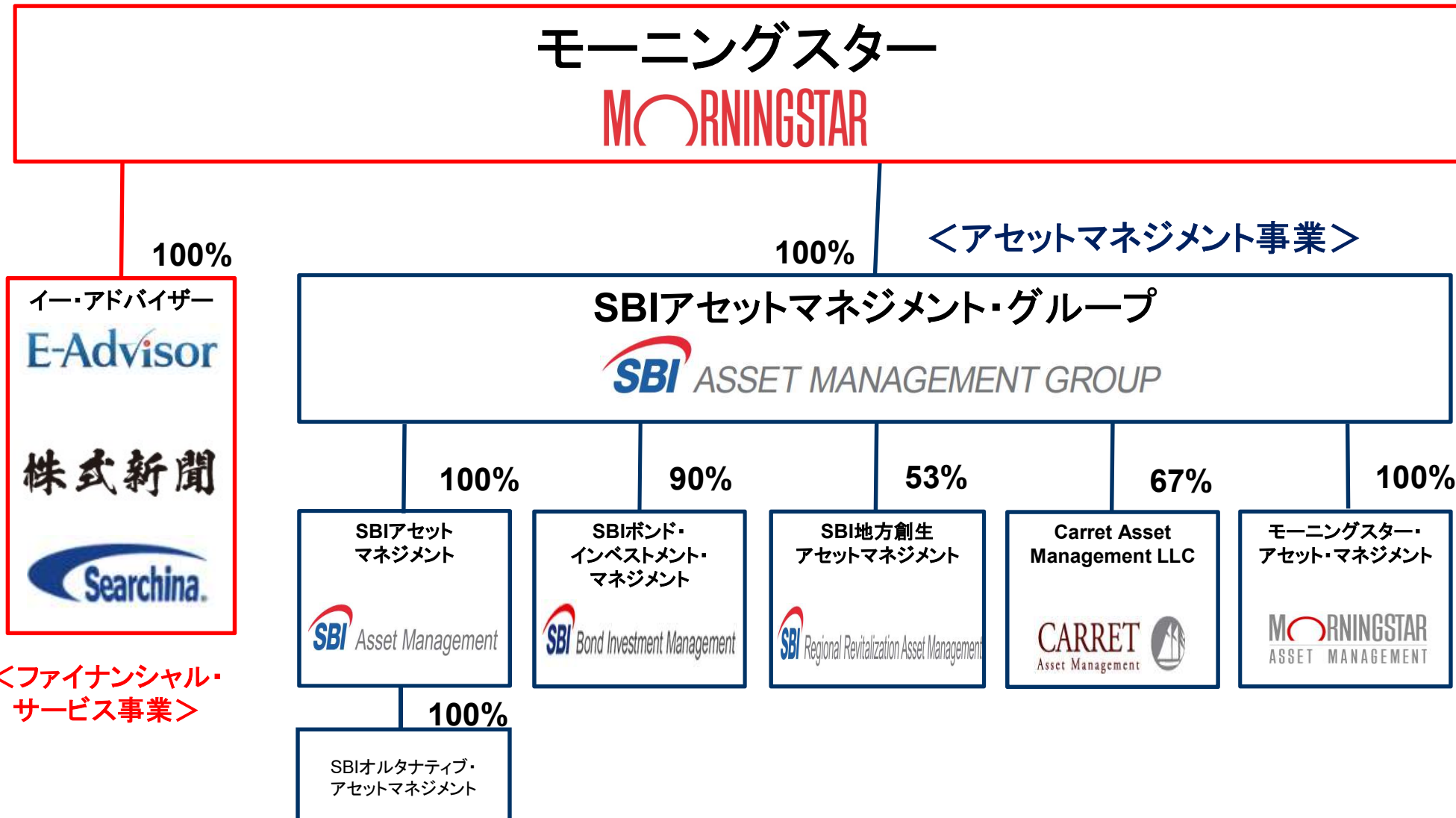
セグメント	サービス名称	2021年3月期 第1四半期 (2020年4月～6月)	2022年3月期 第1四半期 (2021年4月～6月)	増減率 (%)
ファイナンシャル・ サービス事業 (データ・ソリューション)	ファンドデータ			
	(タブレット端末向けのデータ)	133	148	11.7
	(スマートフォン、PC向けのデータ) 定常収益	199	218	9.6
	(スマートフォン、PC向けのデータ) 一時的な開発	88	36	-58.7
	株式新聞購読料(WEB)	10	18	79.7
ファイナンシャル・ サービス事業 (メディア・ソリューション)	メディア・ソリューション			
	(セミナー関連)	52	36	-30.3
	(WEB広告)	15	16	1.8
アセットマネジメント事業 (運用受託報酬)	SBIアセットマネジメント	513	623	21.3
	SBIボンド・インベストメント・マネジメント	206	287	39.6
	SBI地方創生アセットマネジメント	108	211	95.8
	Carret Asset Management	291	301	3.5

Part 2

セグメント別事業の概要

モーニングスターの連結グループ

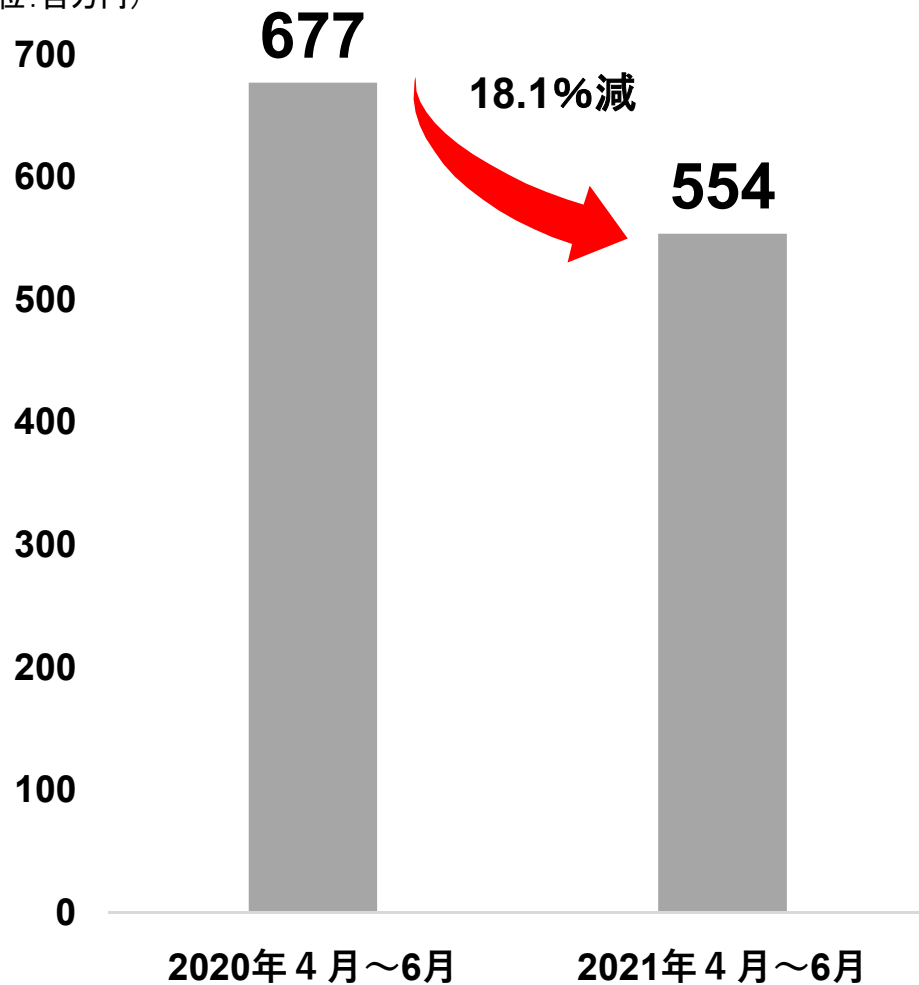
<ファイナンシャル・サービス事業>



セグメント別の売上高

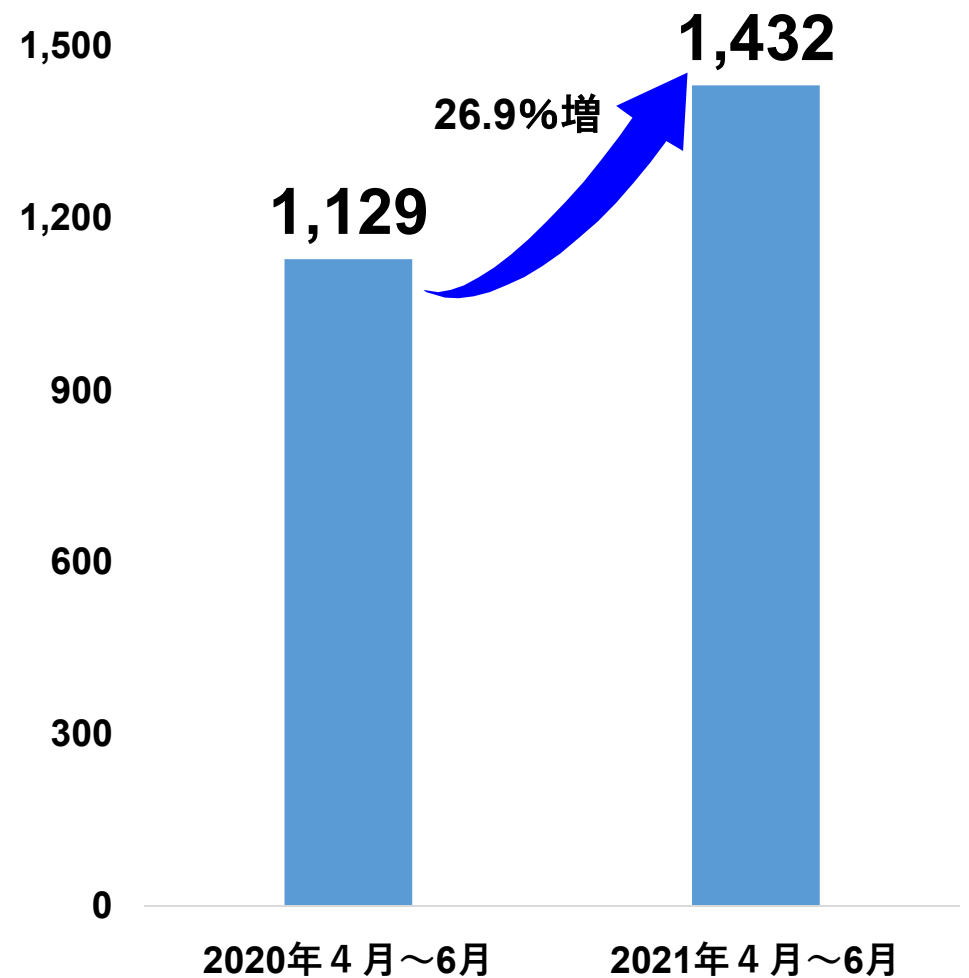
＜ファイナンシャル・サービス事業＞

(単位:百万円)



＜アセットマネジメント事業＞

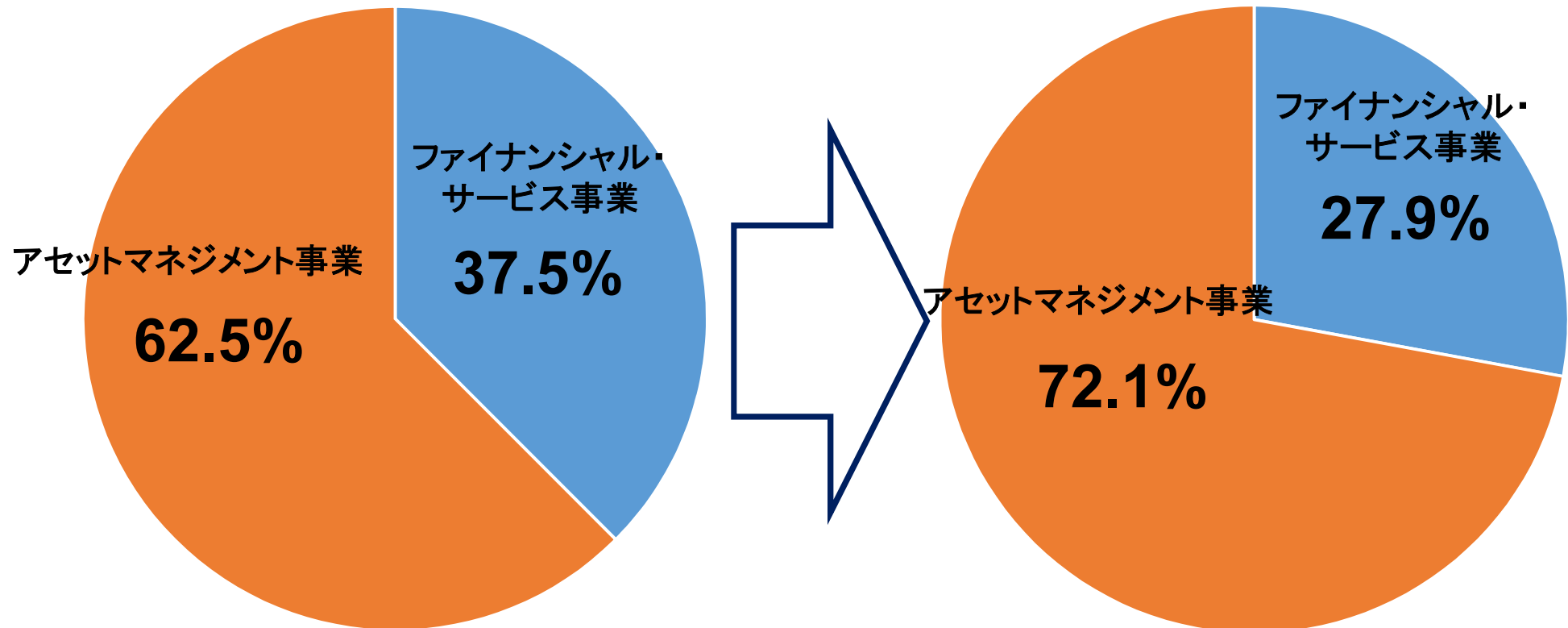
(単位:百万円)



セグメント別の売上高構成比

2021年3月期第1四半期
連結売上高
1,806百万円

2022年3月期第1四半期
連結売上高
1,987百万円



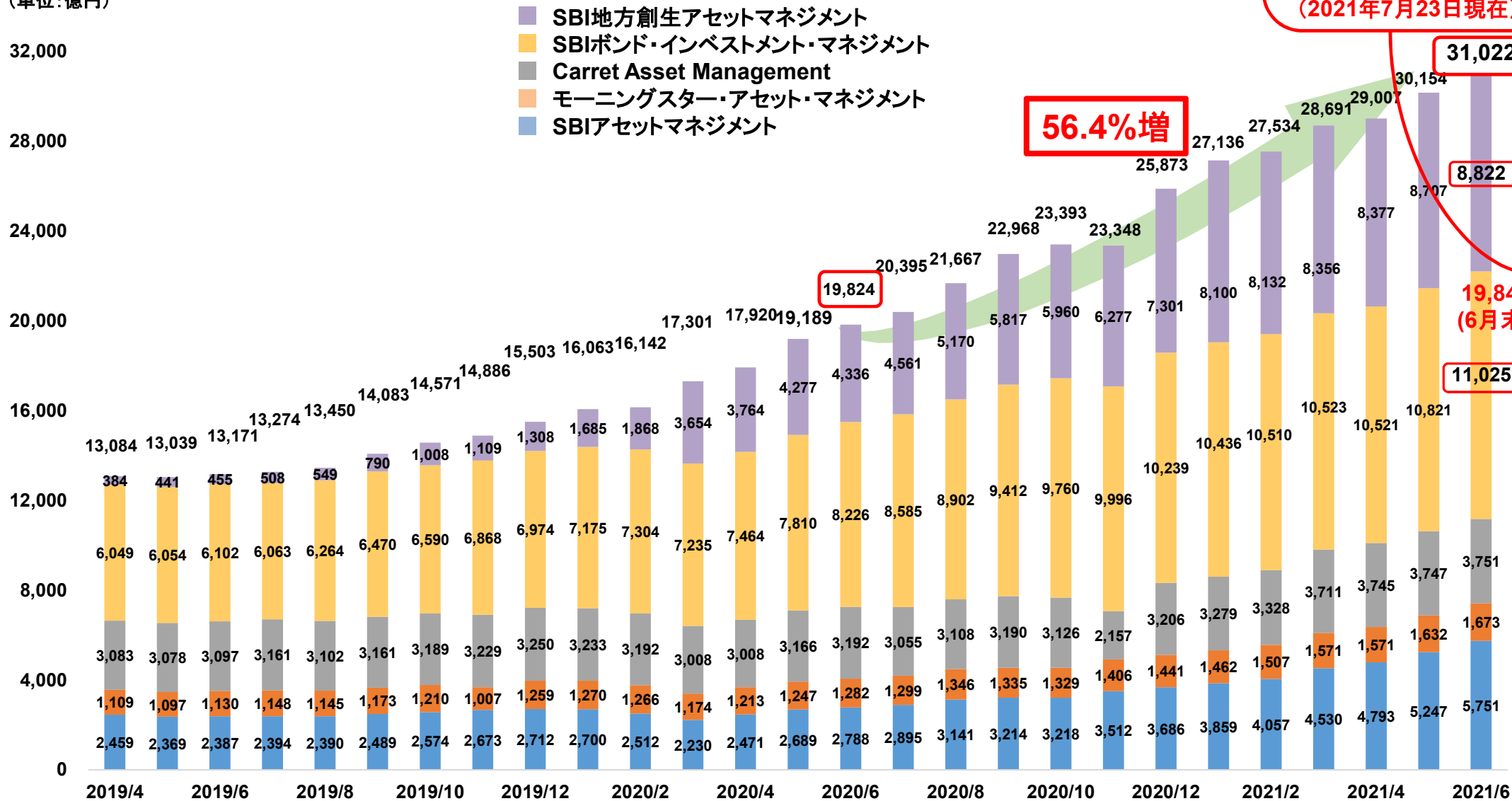
成長ドライバーのアセットマネジメント事業

当グループの運用残高は3兆円を突破

2021年7月23日現在の運用残高は、3兆1,871億円

地域金融機関を中心とした
機関投資家からの
運用受託額は
2兆370億円
(2021年7月23日現在)

(単位: 億円)

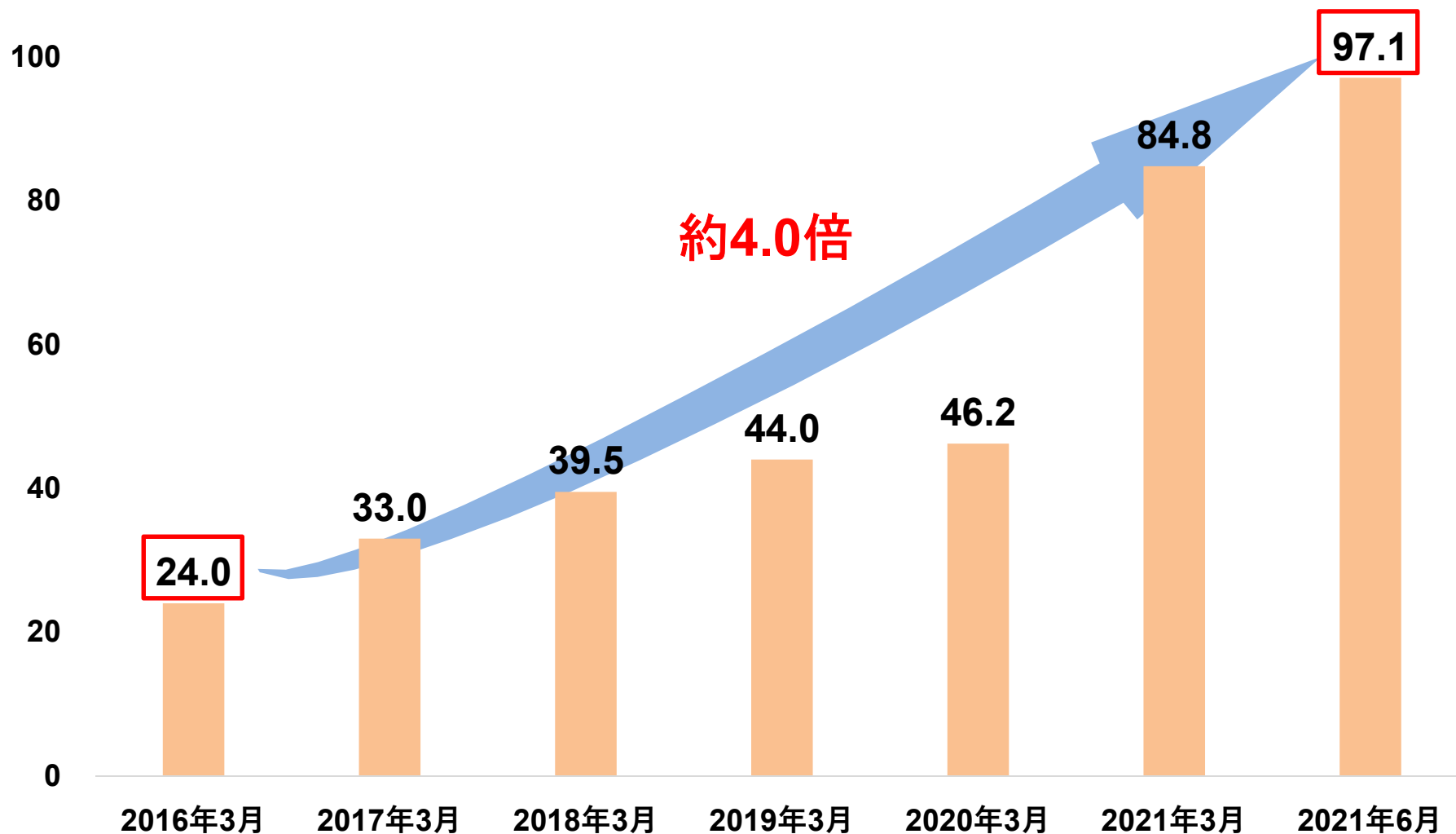


※ Carret Asset Management の運用残高は、2021年6月: 1ドル=110.61円(みずほ銀行公表のTTM)で換算

貸出、運用にも回らない地域銀行の資金が大幅に拡大

地域銀行の日銀当座預金残高

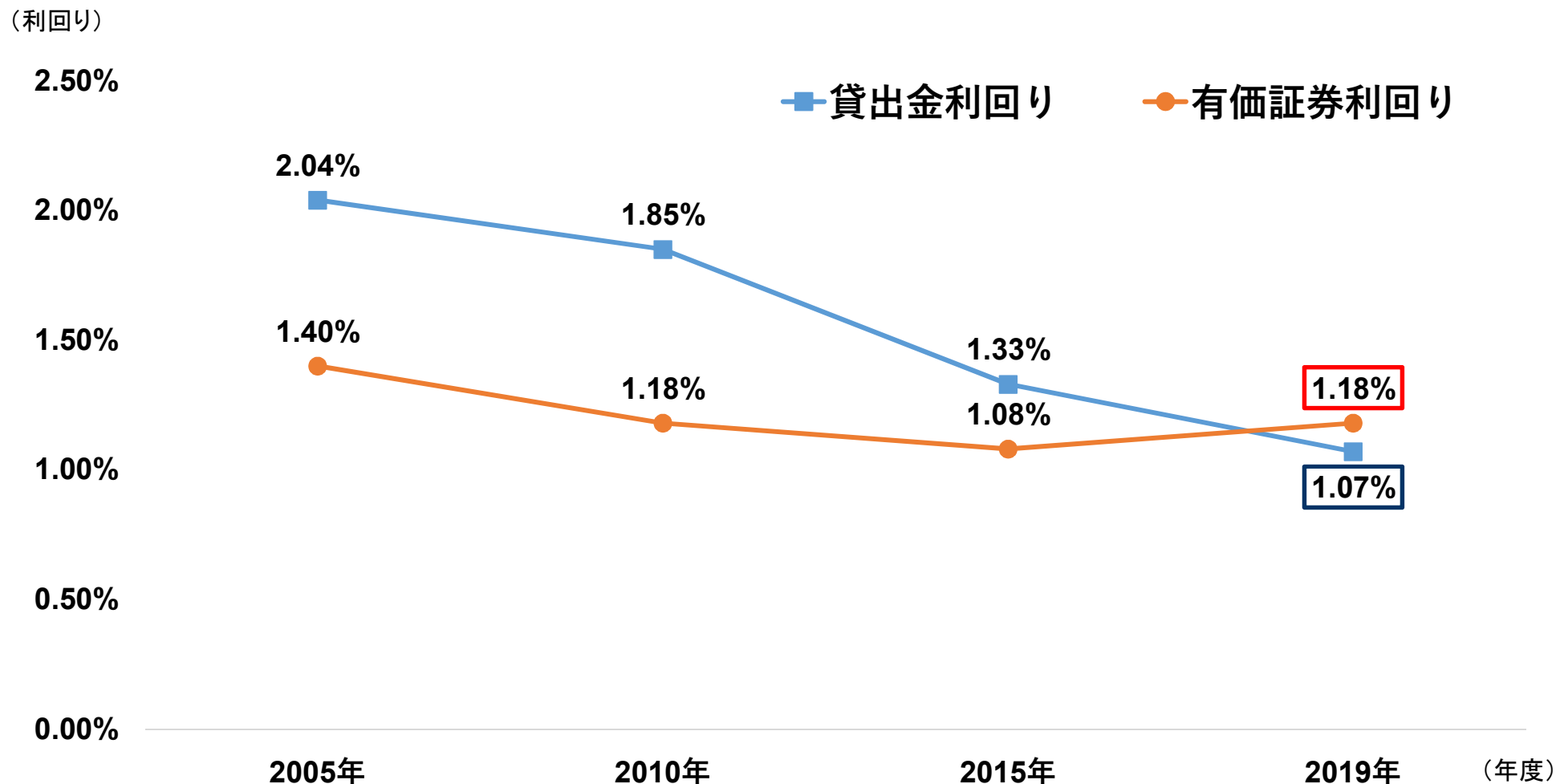
(単位:兆円)



出所: 日本銀行(業態別の日銀当座預金残高)

有価証券運用収益に依存度が高まる地域銀行

地域銀行の貸出金利回り・有価証券利回りの推移



※ 数値は地域銀行全体の平均利回り
※ 貸出金利回り＝貸出金利息÷貸出金平残
※ 有価証券利回り＝有価証券利息配当金÷有価証券平残
出所：全国銀行協会「全国銀行財務諸表分析」

当グループは有価証券運用のトータルソリューションを提供

分析・運用・リスク管理・人材育成を一気通貫で提供

ポートフォリオの分析から
リバランスのご提案

モーニングスターのデータベースを用いて
ポートフォリオ分析 & リバランスの提案

ポートフォリオ構築と運用商品の提供

最適なポートフォリオの構築と適切な運用商品の提供

リスク管理

ポートフォリオ全体のリスク管理を行い、
日次レベルでリスクを把握

運用の人材の教育及び育成

フロントからミドル・バックまで運用業務全体の教育・研修

ポートフォリオ全体のリスク管理の提供

ポートフォリオ全体のリスク管理を行い、日次レベルで運用ポジション、損益状況、VaR計算、金利感応度を把握し、きめ細やかなリスク管理を提供

期間損益シュミレーション

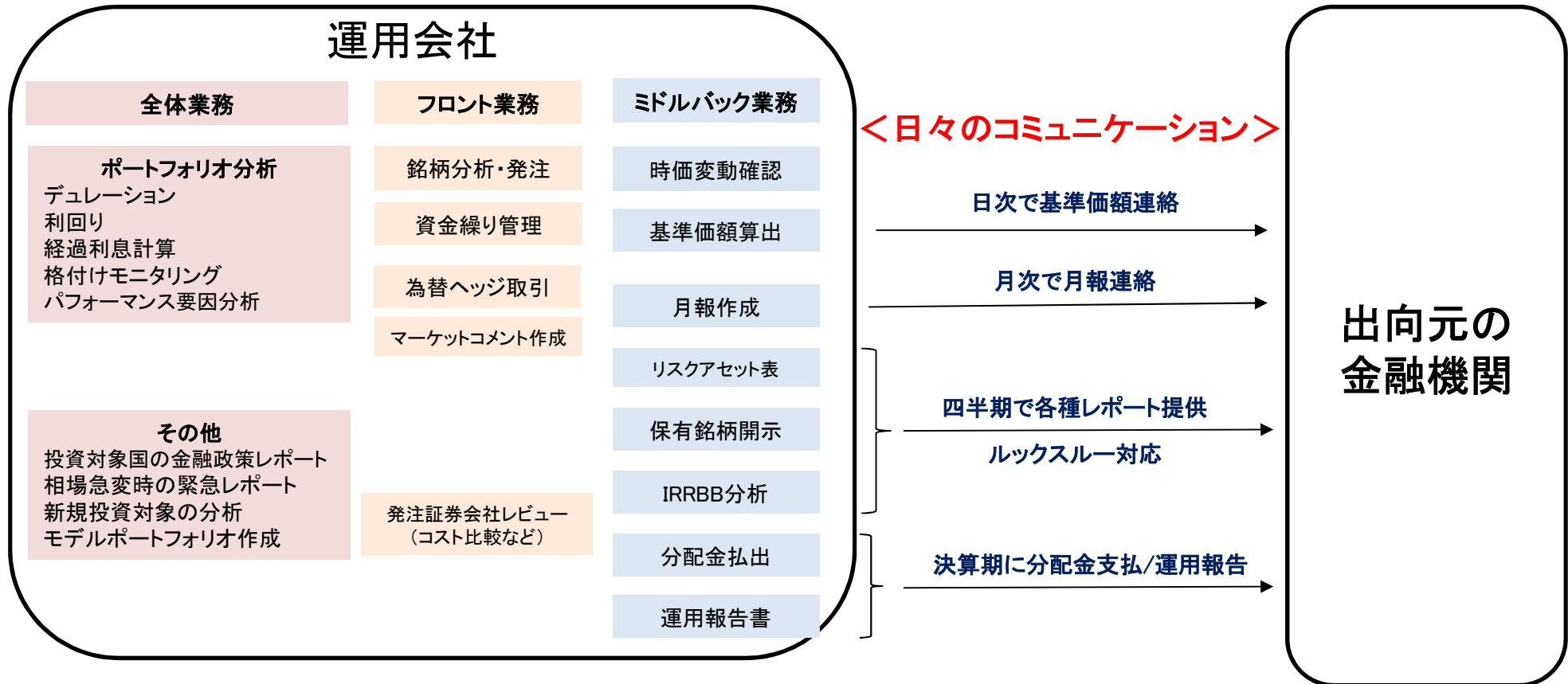


データの可視化



有価証券運用の人材の教育・育成サポート

- ・フロントからミドル・バックまで運用業務全般を把握
- ・グローバルな情報収集と幅広い商品知識の習得
- ・ハンズオンでの運用を行い、マーケット感覚と運用ノウハウを習得



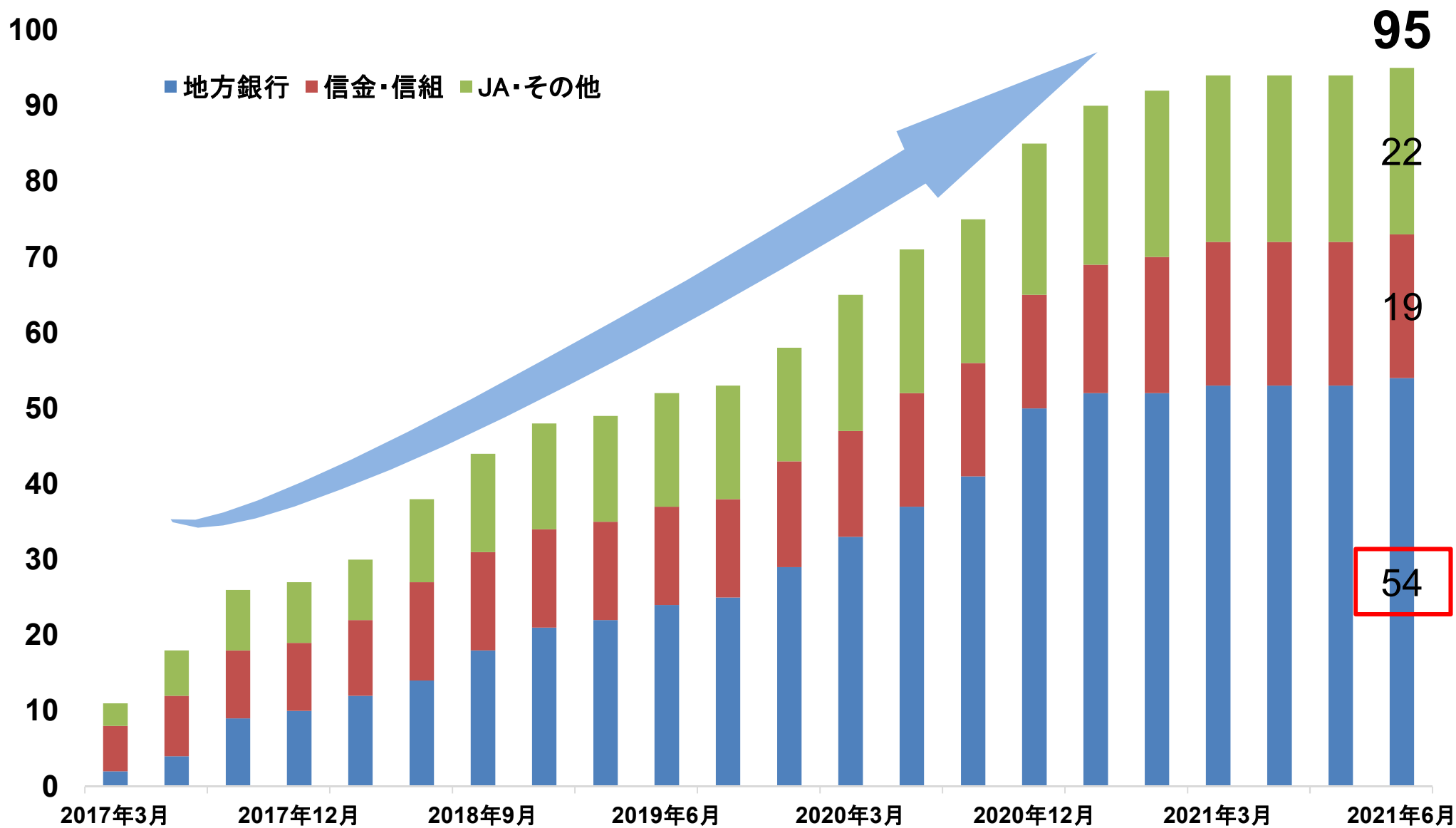
当グループの直近1年間の私募投信の累計資金流入額は 外資系や日系大手を抑えて第4位に

＜私募投信の累計資金流入額＞ (2020年7月～2021年6月)

順位	投資信託会社	過去1年の累計 資金流入額(億円)
1	三井住友トラスト・アセットマネジメント	15,369
2	インベスコ・アセット・マネジメント	13,238
3	ブラックロック・ジャパン	9,246
4	SBI (SBI bonds・インベストメント・マネジメント & SBI地方創生アセットマネジメント)	7,101
5	SOMPOアセットマネジメント	5,810
6	JPモルガン・アセット・マネジメント	5,669
7	ピムコジャパン	5,628
8	三菱UFJ国際投信	3,728
9	ブルーベイ・アセット・マネジメント	2,604
10	新生インベストメント・マネジメント	2,497
11	大和アセットマネジメント	2,061
12	バークレイズ投信投資顧問	1,575
13	明治安田アセットマネジメント	1,479
14	アクサ・インベストメント・マネージャーズ	1,472
15	アムンディ・ジャパン	1,362
16	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	1,244
17	ティー・ロウ・プライス・ジャパン	1,088
18	オールニッポン・アセットマネジメント	1,019
19	シンプレクス・アセット・マネジメント	954
20	ニューバーガー・バーマン	936

当グループが運用受託している金融機関は95社に及ぶ

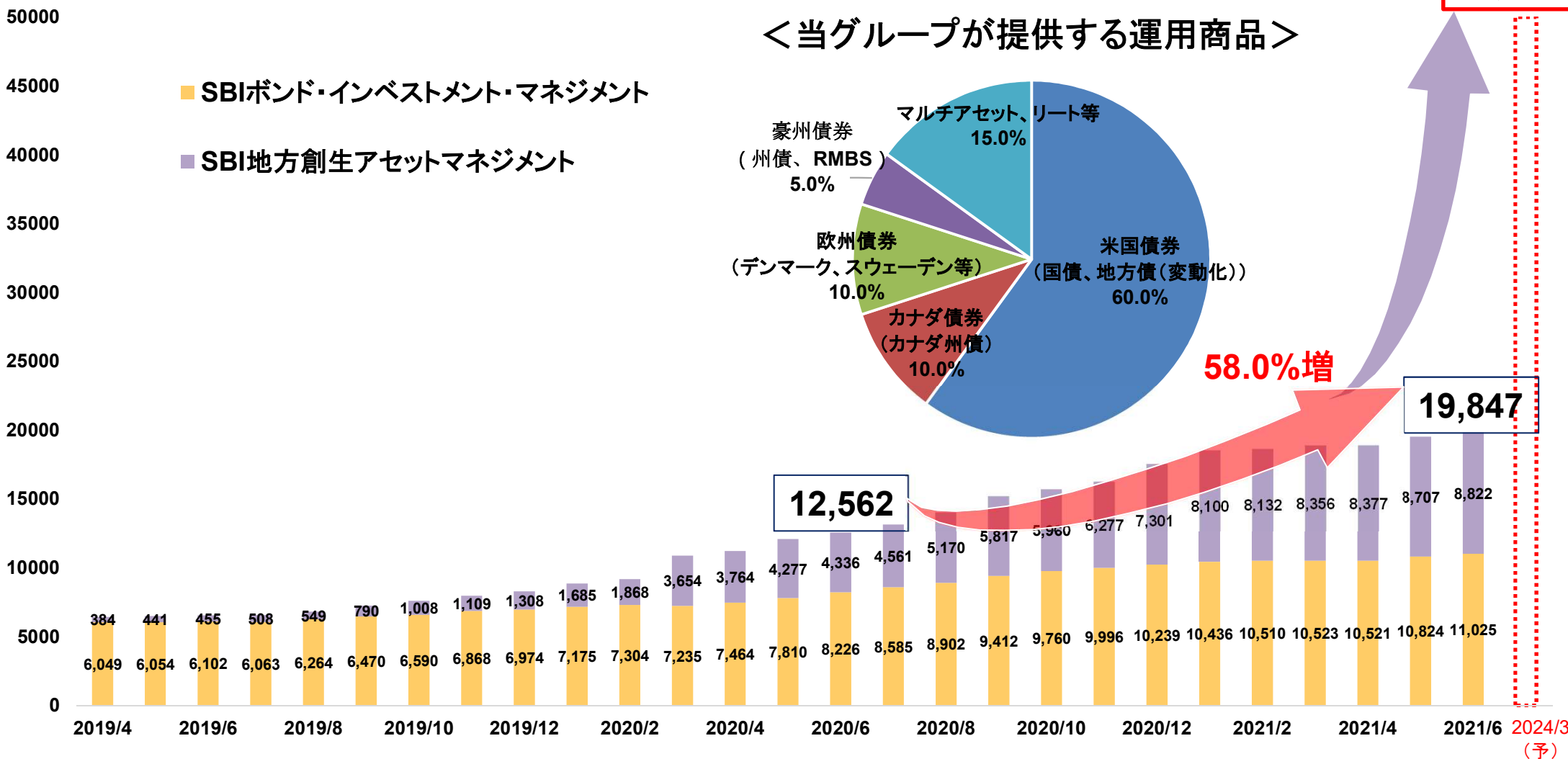
地方銀行は100行中、54行から運用を受託



3年後に地域金融機関を中心とした機関投資家向け 私募投信の残高の5兆円突破を目指す

2021年7月23日現在: 2兆370億円

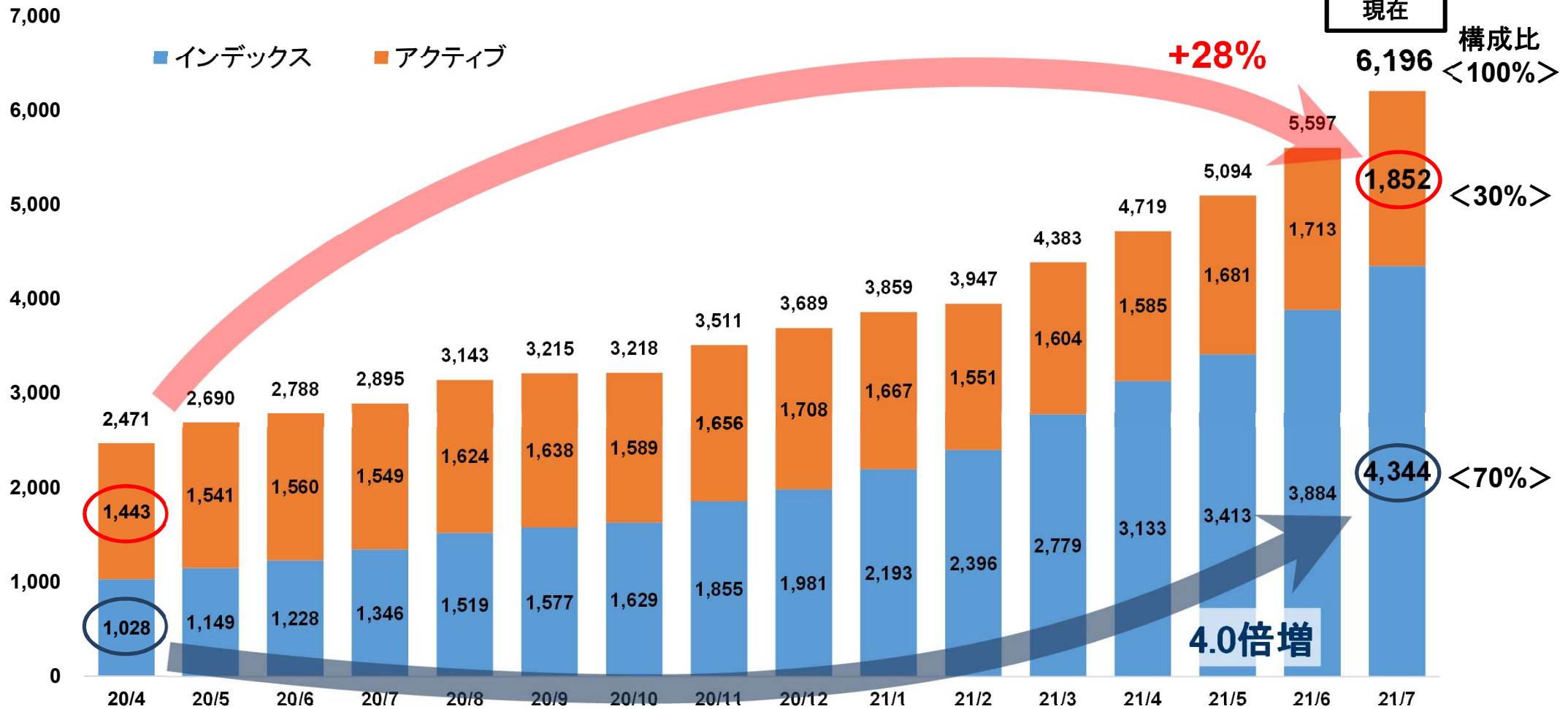
(単位: 億円)



SBIアセットマネジメントの 公募インデックスファンドの運用残高は大幅に拡大

SBIアセットマネジメントのアクティブファンドとインデックスファンドの運用残高の推移

(単位: 億円)



※ 私募投信、年金等を除く

(年/月)

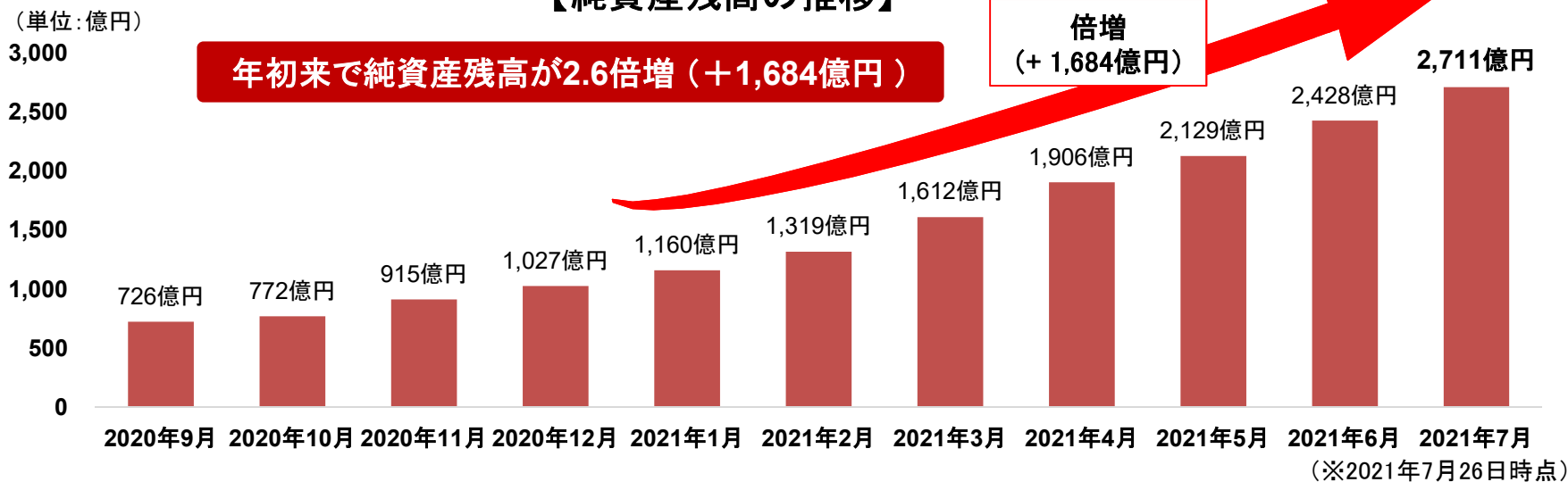
米国バンガード社と共同組成の「SBI・V・S&P500インデックスファンド」は大きく飛躍

➤ 7月26日現在の純資産残高: 2,711億円

＜信託報酬＞
0.0938%



【純資産残高の推移】



「SBI・V・全米株式インデックス・ファンド」

➤ 7月26日現在の純資産残高: 164億円



0.0938%

0.162%

0.56%

SBI・V・全米株式

楽天・全米株式

カテゴリー平均

「SBI・V・米国高配当株式インデックス・ファンド」

➤ 7月26日現在の純資産残高: 39億円



0.1238%

0.192%

0.56%

SBI・V・米国高配当株式

楽天・米国高配当株式

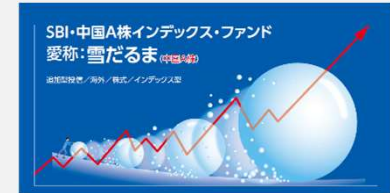
カテゴリー平均

3年後にインデックスファンド残高1兆円突破に向けて 新たなインデックスファンドを順次設定へ

<第一弾> SBI・V シリーズ 2ファンド SBI・V・全米株式インデックス・ファンド、 SBI・V・米国高配当株式インデックス・ファンド
6月29日設定済み

<第二弾> SBI・中国A株インデックス・ファンド(愛称:雪だるま(中国A株))⇒ [現在募集中](#)

【特徴】中国A株指数に連動するETFに投資、対象インデックスは、FTSE China A50
【日程】7月14～29日募集、7月30日設定・運用開始

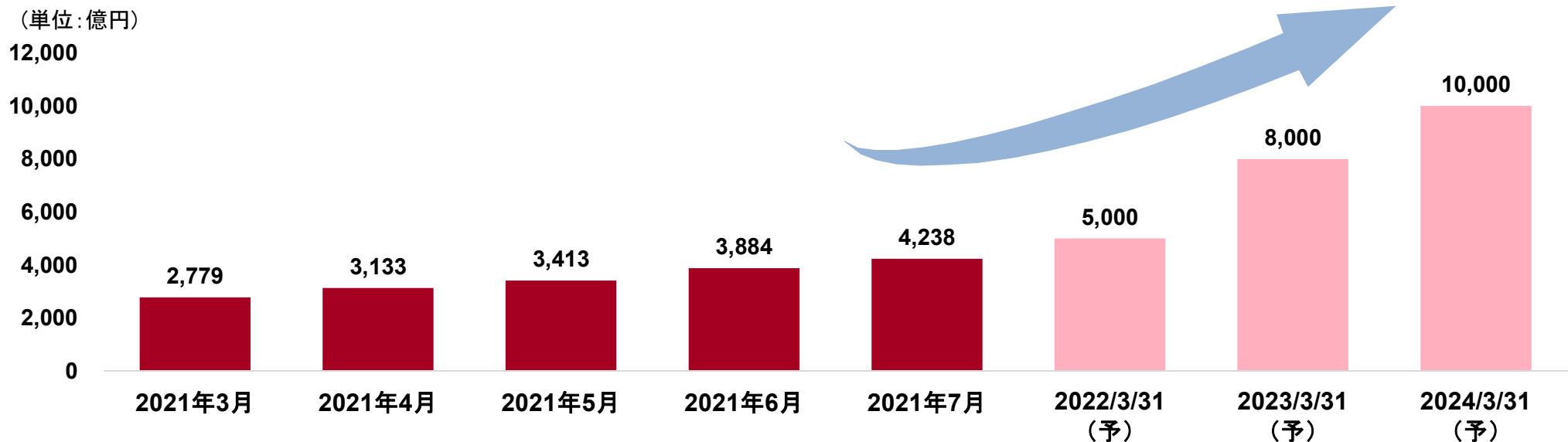


信託報酬率:年率:0.4138%(同カテゴリー平均:0.82%)

<第三弾> テーマ型 新インデックス・ファンド・シリーズ

【特徴】複数のテーマ型新インデックスを新たに組成、各インデックスに連動するテーマ型インデックスファンドを設定。
テーマ型新インデックスファンド シリーズ(新投資5テーマ)
【日程】8月末 設定予定

更に今後、第四弾・第五弾としてESG関連のインデックス・ファンドのシリーズ、Vシリーズへのファンド追加などの展開を準備中。



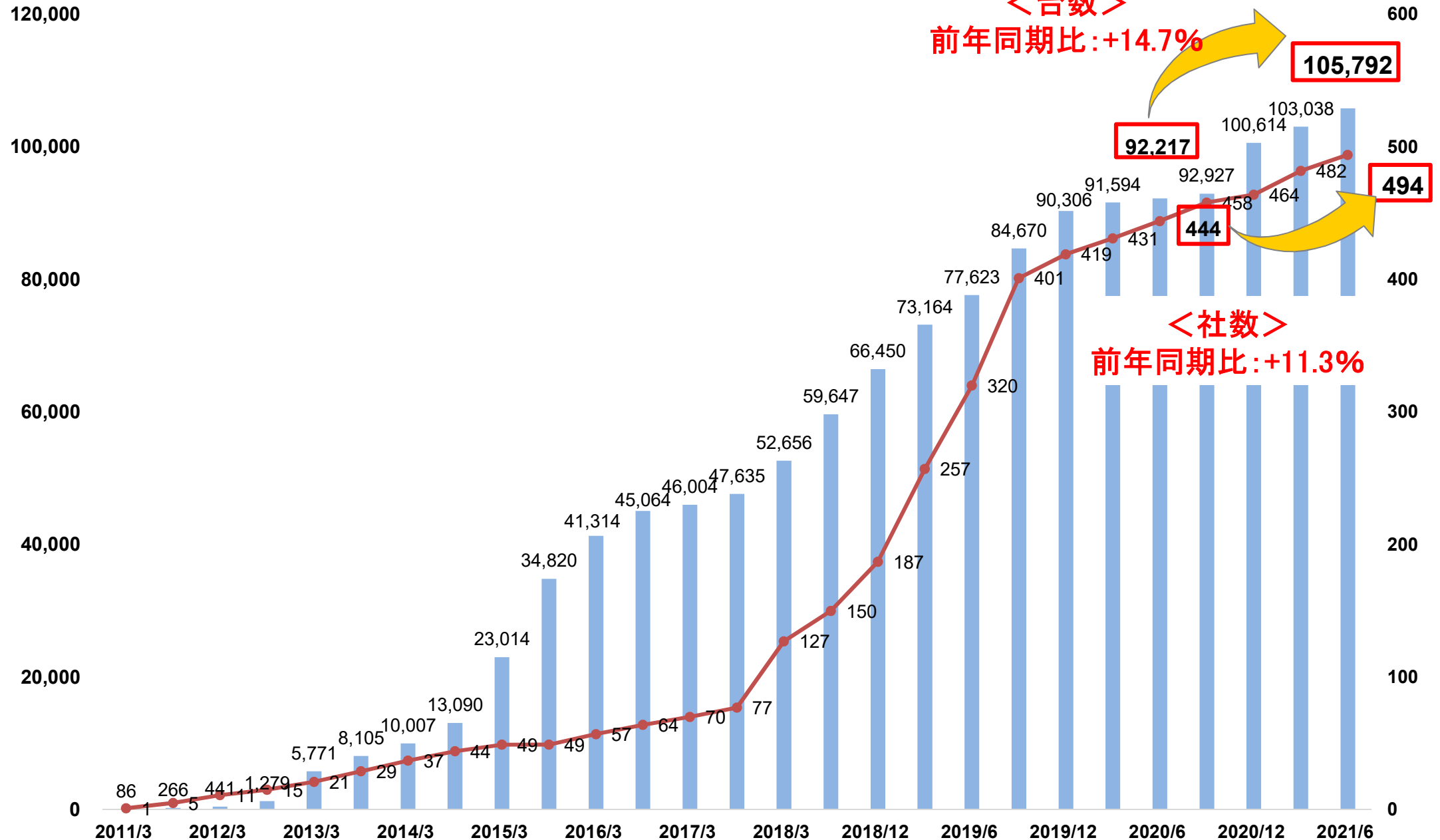
※ 2021年7月のデータは、2021年7月21日時点

SaaS (Software as a Service) 事業が牽引する ファイナンシャル・サービス事業

「Wealth Advisors」は、社数、台数ともに前年同期比二桁の増加

(単位: 提供台数)

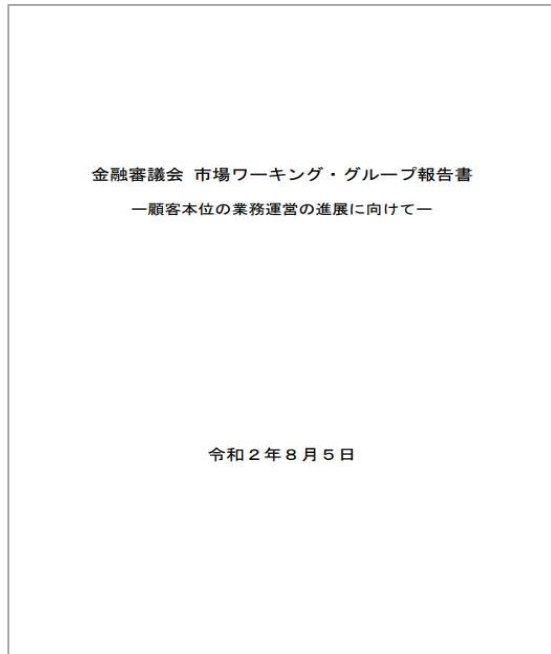
(単位: 提供社数)



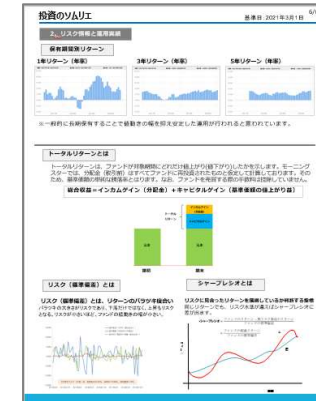
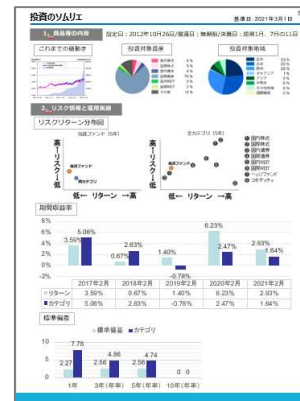
徹底した顧客本位の業務運営に必須な「重要情報シート」において 当社のカスタマイズコンテンツを提供

＜顧客本位の業務運営の進展＞
金融庁：2020年8月5日発表

- ・重要な情報のわかりやすい提供（重要情報シート）
- ・顧客の意向に基づいた、長期的な視点も配慮したフォローアップ



□ 金融庁の掲げる「重要情報シート」において当社の カスタマイズコンテンツを提供



□ 長期的な視点を配慮した「ライフプランシミュレーション」の提供

個々人のライフプランシミュレーションの実施

賃金データ、大学費用などビッグデータを活用したきめ細かな分析



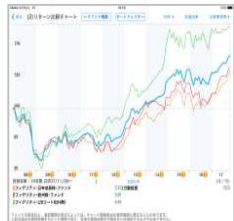
「Wealth Advisors」の「顧客情報との連携」は「顧客本位の業務運営」の進展により導入検討先が増加

Phase1

顧客へのアドバイス機能

提案

- 比較・合成チャート
- ポートフォリオ分析
- リスク・リターン分析



Phase2

顧客情報との連携 (CRM連携)

■提供中 : 3社

メガ銀行 : 1社
信託銀行 : 1社
地方銀行 : 1社

■導入検討 : 9社

地方銀行 : 7社
証券会社 : 2社

顧客情報との連携

Phase3

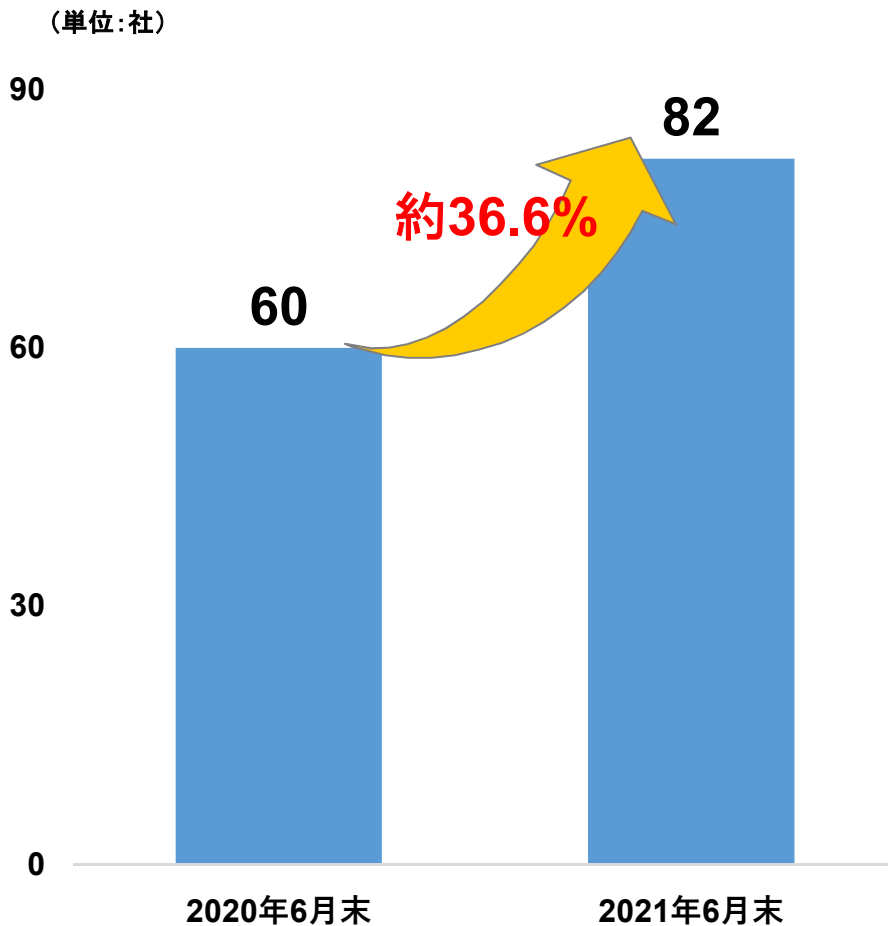
売買システムとの連携

約定

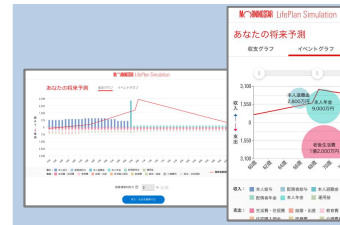


PC・スマートフォン向け「投信データ」及び「資産運用関連ツール」の提供先の拡大

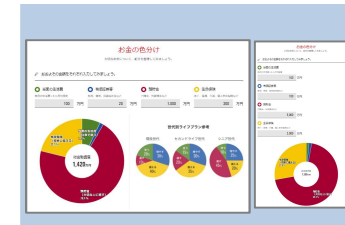
「PC・スマートフォン向け投信データ」及び「資産運用関連ツール」の提供社数



ライフプラン
シミュレーション



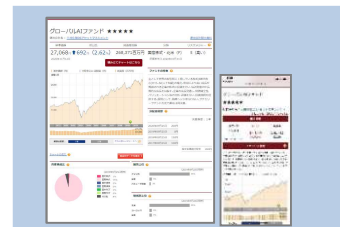
お金の色分け診断



金融電卓



ホームページ向け
投資信託データ提供



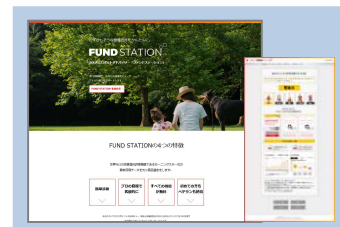
積立
シミュレーション



つみたてNISA
節税シミュレーション



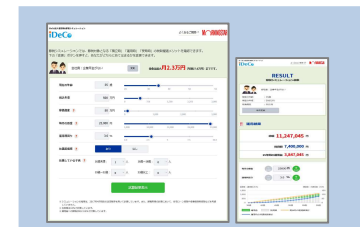
ロボ・アドバイザー



相続
シミュレーション

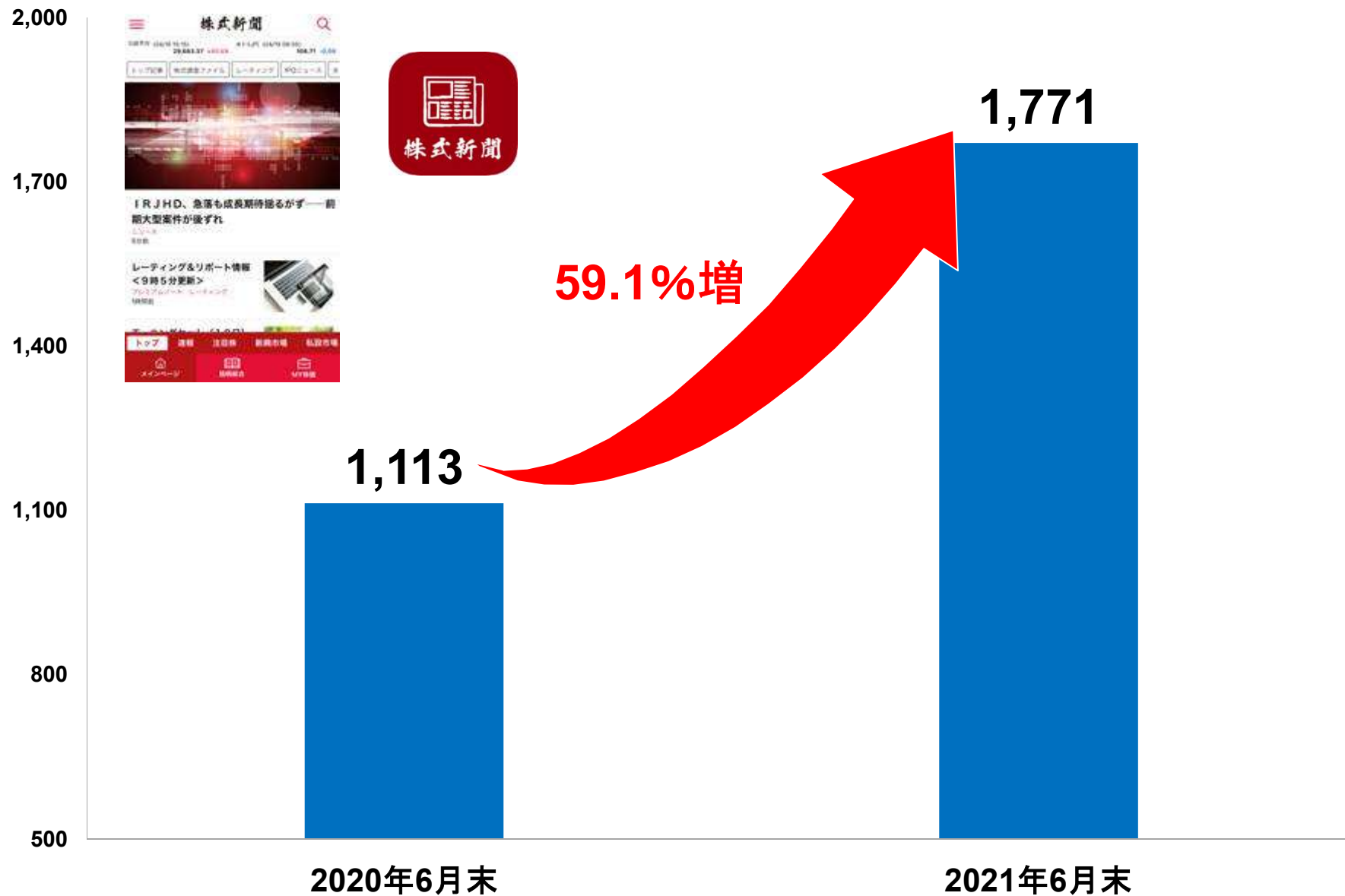


iDeCo節税
シミュレーション



株式新聞Web有料版の会員数は6割増に拡大

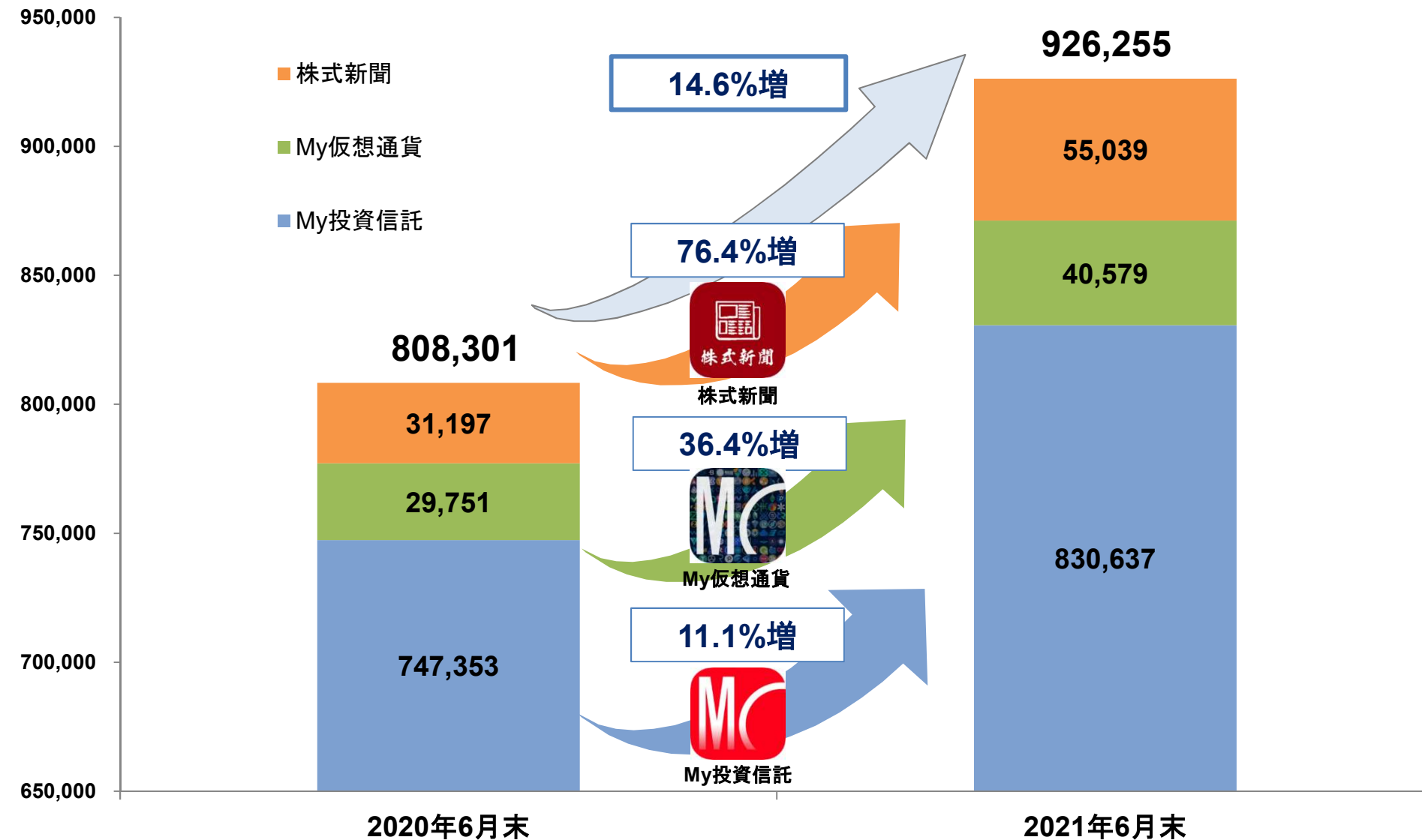
(単位：人)



全てのスマートフォンアプリのダウンロード数が 前年同期末比で二桁の増加

<スマートフォンアプリのダウンロード数>

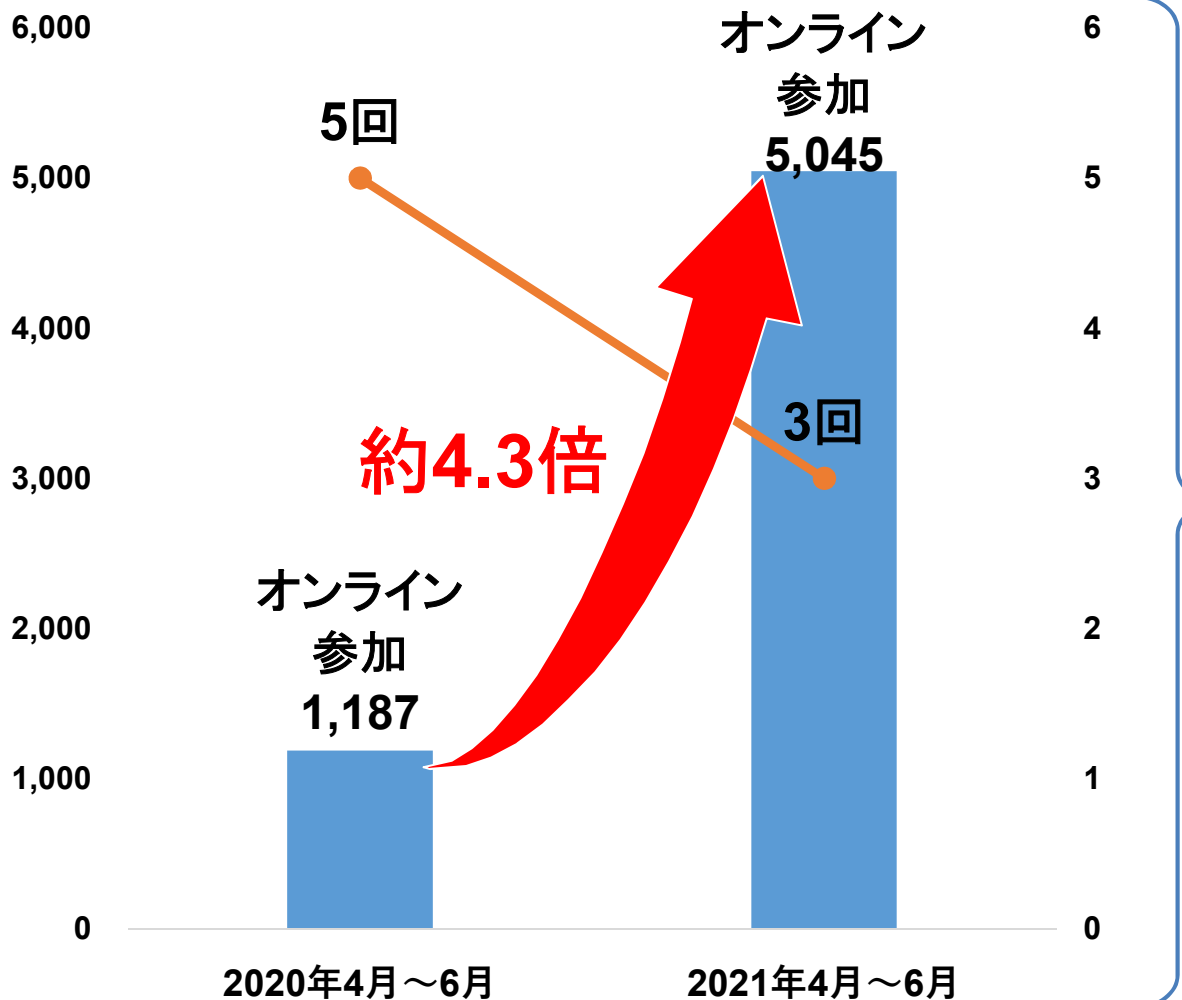
(単位:DL)



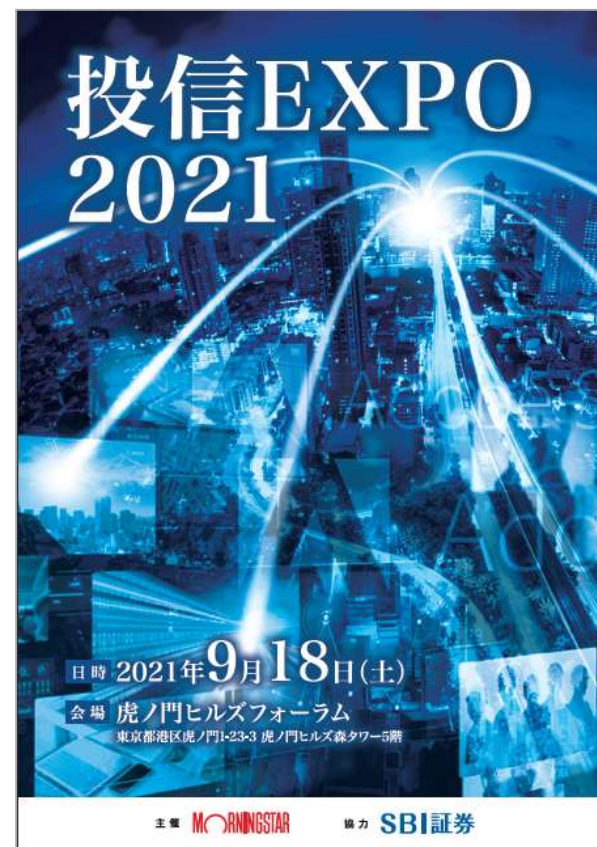
セミナーはオンライン参加者数は増加したものの 開催数の減少により売上も減少 年後半にかけて「対面型」セミナーも徐々に復活する

(視聴者数)

セミナー開催回数と視聴者数の推移



投信EXPO2021 【2021年9月18日(土)開催予定】



地方銀行とのタイアップフェアも予定

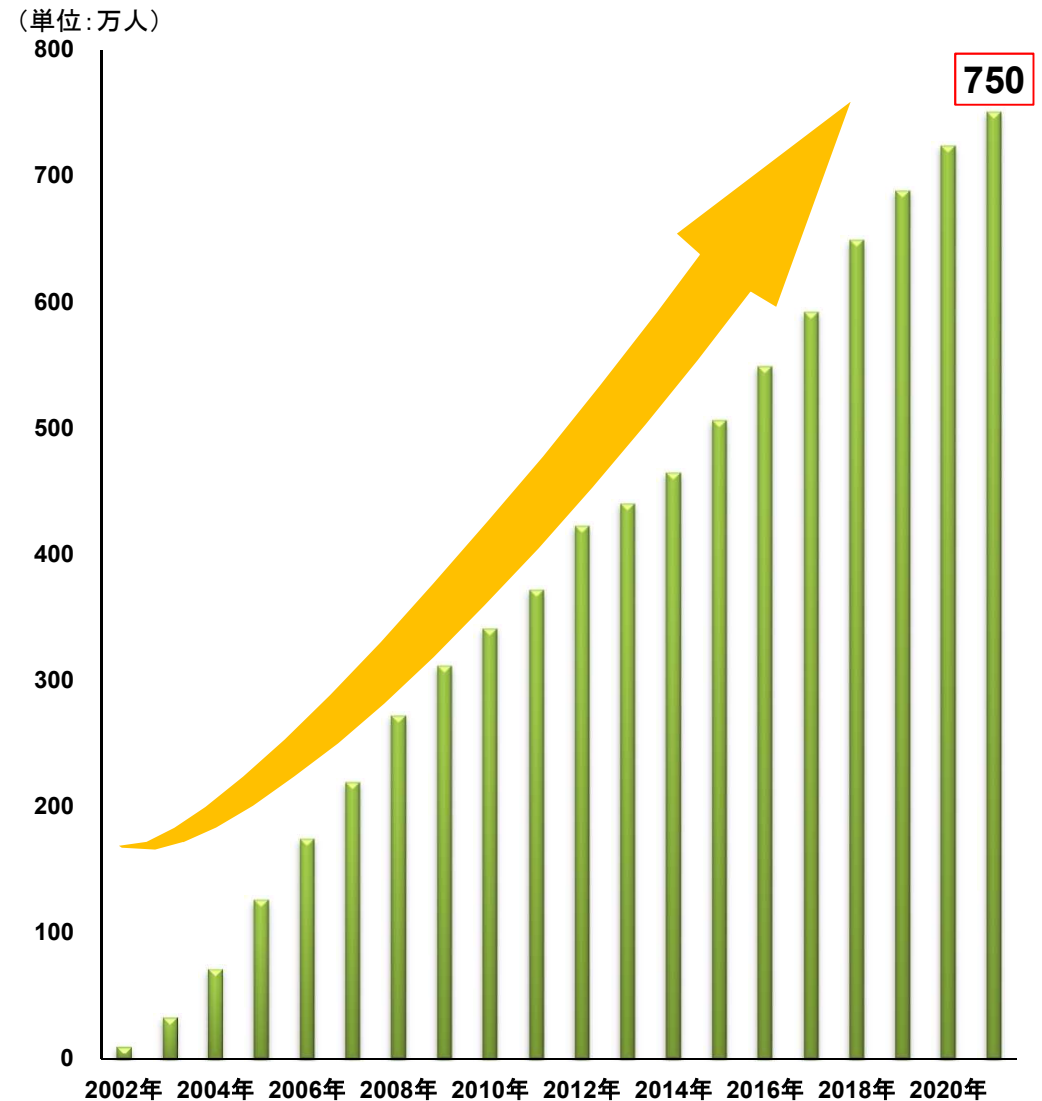
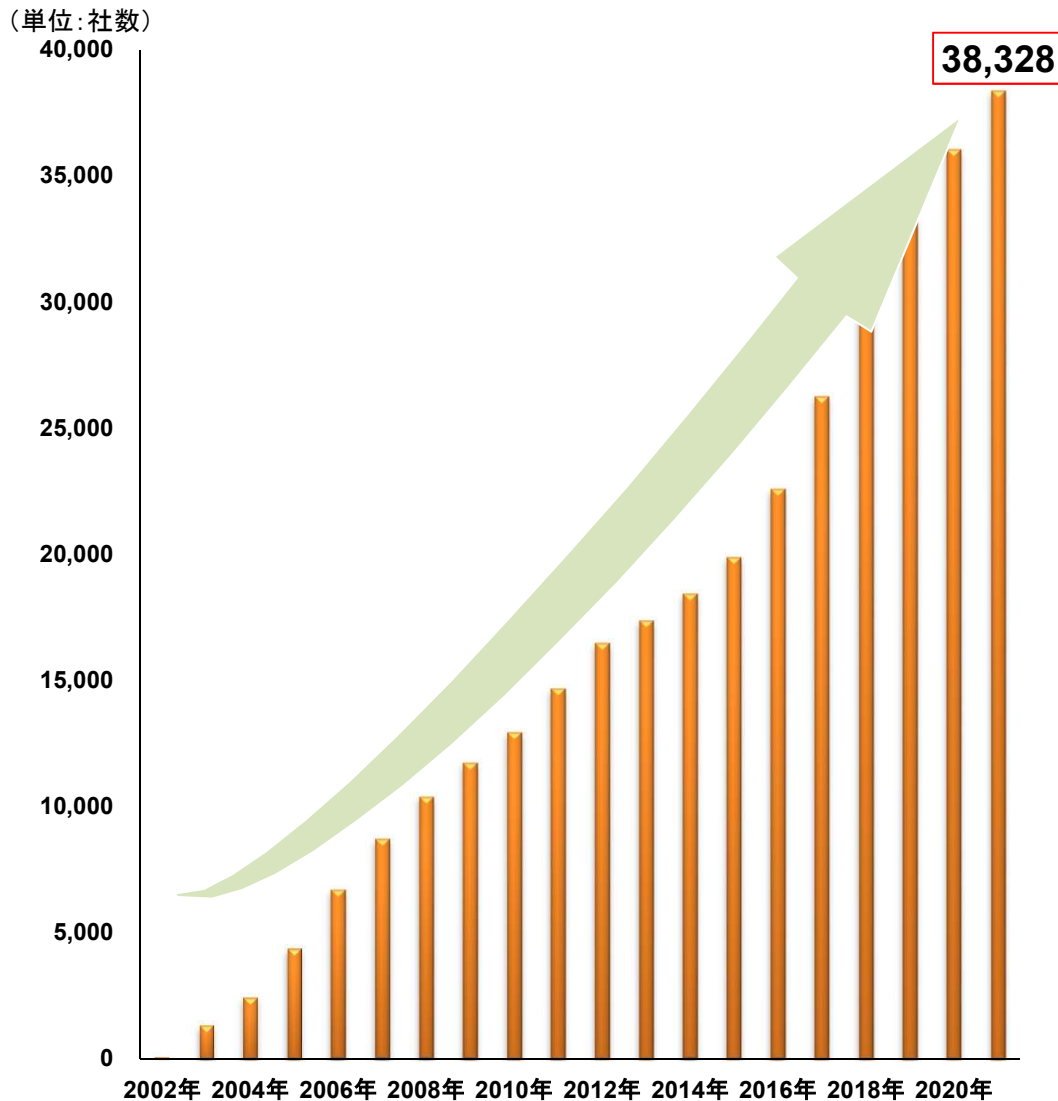
Part 3

アセットマネジメント事業の更なる拡大に向けた
「投資助言サービス」と「ロボアドバイザーの開発」

企業型確定拠出年金採用の事業所数と加入者数は大幅に拡大

＜企業型確定拠出年金の事業所数＞

＜企業型確定拠出年金の加入者数＞



※ 企業型確定拠出年金の事業所数は 各年3月末時点(出所:厚生労働省)
 企業型確定拠出年金の加入者数は 各年3月末時点、2021年3月末(速報値)(出所:運営管理機関連絡協議会)

確定拠出年金加入者向けの資産管理&投資助言アプリ 『らくらく資産づくり』 2021年7月末から提供

1年で10万人、3年で30万人の利用ユーザー数を目指す



アプリは、投資助言並びに口座連携機能を搭載し 確定拠出年金加入者の資産形成をサポート

「らくらく資産づくり」のイメージ

自動ポートフォリオ提案

専門家と相談

アカウント・
アグリゲーション

コンテンツ

➤ 簡易なロボアドバイザー機能

➤ チャットによる投資相談で個人の
状況に適したアドバイス

➤ 複数の金融機関の口座を一括管理

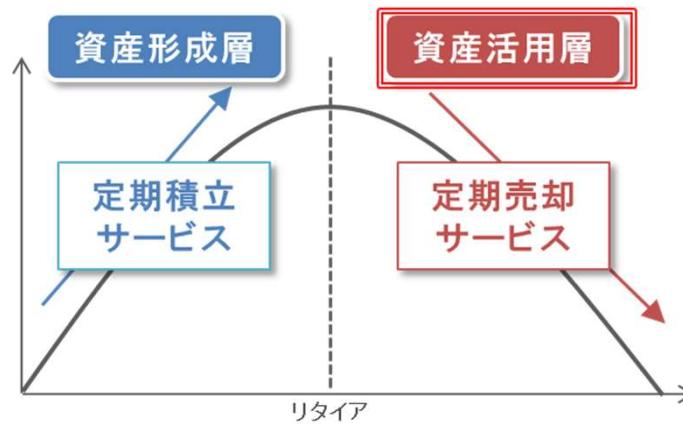
➤ 投資教育用コンテンツ動画は企業
ごとにカスタマイズして提供



複数金融機関の
資産情報を一括管理

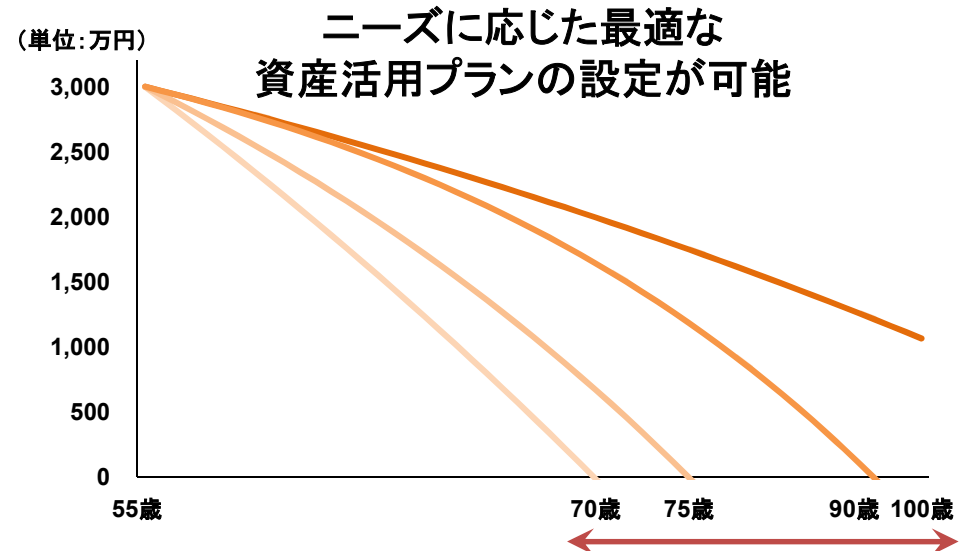
「資産形成層」に加えて、「資産活用層」向けに ロボアドバイザーを開発

来年度からのリリースに向けて現在開発中

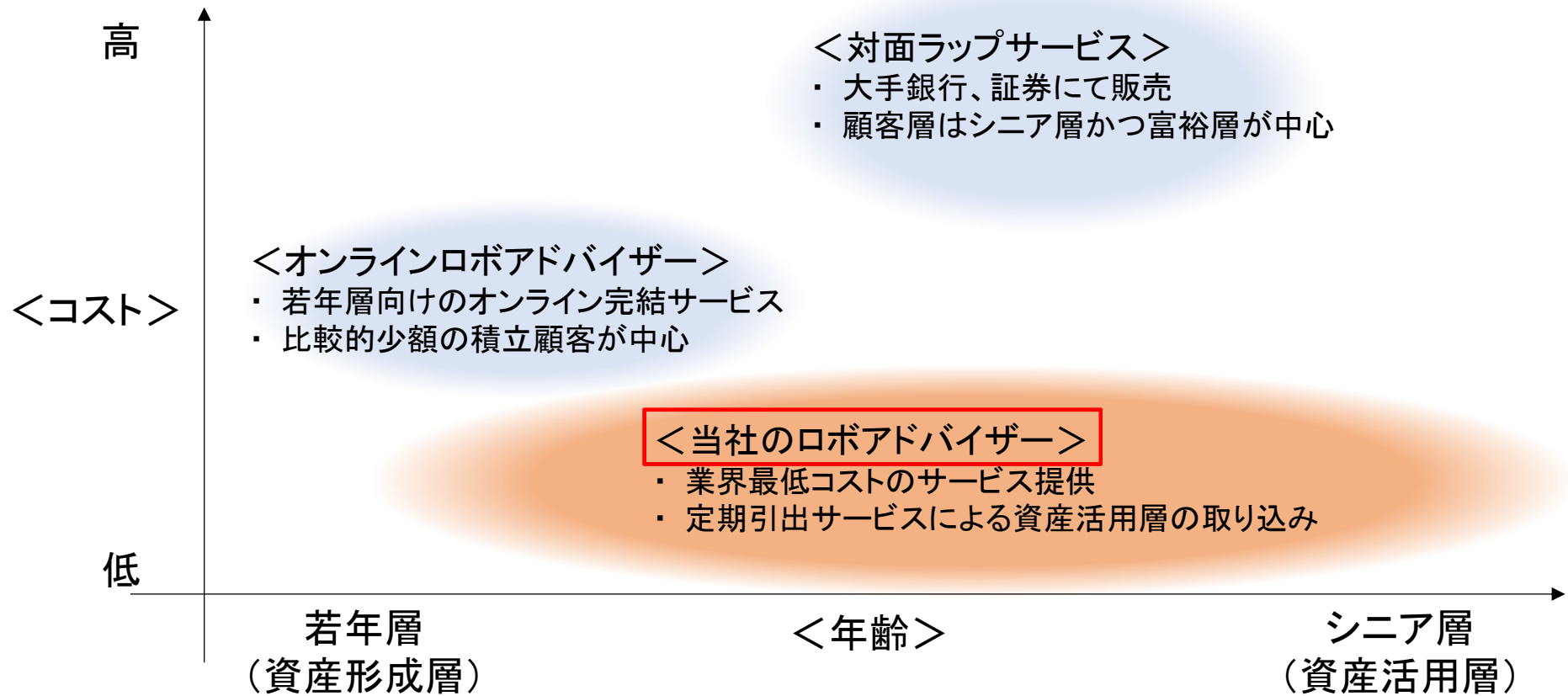


定期積立機能に加えて、資産活用層に
ニーズの高い定期売却機能を実装

「資産活用層」に最適な
分散ポートフォリオの提示



既存の対面ラップサービス及びオンラインロボアドバイザーとの差別化



	当社のロボアドバイザー	オンラインロボアドバイザー	対面ラップサービス
手数料	0.50%以内	平均1.00%	平均2.50%
メイン顧客層	資産形成層・資産活用層	資産形成層	資産活用層
メインサービス	積立投資・ 定期売却サービス	積立投資	一括投資